

2025年度 柚野中学校 グランドデザイン



小中学校教育目標『柚野を愛し、柚野に学ぶ』
小学校：主体的に生きる 中学校：品格を高める



【小中学校経営目標】

自己・他者・地域を愛する心と主体性・協働性を育む教育活動の推進

【9年間で身に付けたい資質・能力】

主体性

協働性

対話力

情報リテラシー

郷土愛

メタ認知力

Plan

【重点目標：目指すこども像】(柚野小中連携三部会による計画立案)

●**認め合う**：思いやりの心を持ち、主体的に行動するこども (豊かな心育成部)

◆**学び合う**：主体的に学び、共に高め合うこども (確かな学力育成部)

▼**鍛え合う**：健康な身体や正しい生活習慣を主体的につくるこども (たくましい心身育成部)

Action

○課題に対する改善案について検討後
改善案の実施

<改善案の検討場面>

【短期】 打合せ、職員会議、職員研修

【中期】 小中三部会、学校運営協議会、
PTA理事会

【長期】 教育課程編成

Do

●豊かな心育成部(生徒指導部 特活部)

- 誰とでも活動できる集団づくり
・対話的な自己表現活動や自主的な生徒会活動の充実
- 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育
- 自己指導力を育む生徒指導
・安心して学習に取り組める学級集団
- 思いやりの心を育む人権教育、
・人間関係づくりプログラムの活用
- 自己の生き方を考える道徳教育
・考え議論する道徳の授業の充実

◆確かな学力育成部(研修部 ICT 担当)

- ◆ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実
・デジタルとリアルの効果的な組合せ
- ◆「学びの伴走者」としての教師の関わり
・主体的、対話的で深い学びを視点にした授業改善
- ◆こどもが主体的に学ぶ「学びのサイクル」の確立
・対話を通して考えを広げ深める授業の展開
- ◆探究力を育てる体験的な学び
・地域との関わりを通じた体験的な学び

Check

【評価場面・方法(教職員・学校関係者)】

- ・日常的な学習評価、生活評価
- ・学校評価(年2回) ・小中三部会
- ・学校評議員会、PTA理事会
- ・行事毎の成果と課題の分析

【評価場面・方法(子供)】

- ・授業における振り返り
- ・定期テスト、定着度調査、全国学・学調査

【学校評価重点項目】

(小・中の順) 【 】は到達目標(%)

- ①授業が楽しい (96・90)【90】
- ②柚香の意欲的な追究(93・87)【90】
- ③学校が楽しい (91・68)【90】
- ④挨拶、言葉遣い (95・91)【90】
- ⑤体力づくり (92・88)【90】
- ⑥早寝早起き朝ごはん(81・87)【90】

主体性

協働性

郷土愛

メタ認知力

認め合う

学び合う

対話力

情報リテラシー

鍛え合う

9年間で
身に付けたい
資質・能力

▼主体的に取り組む体力づくり

- ・めあてをもって取り組む保健体育の充実
- ・部活や昼休みでの主体的な体力作り

▼家庭と連携した健康教育

- ・基本的生活習慣の確立、学校保健委員会

▼自らの命を守る安全教育

- ・生活安全、交通安全、災害安全

▼たくましい心身育成部(養教 体育主任)

地域・家庭との連携・協働

- コミュニティ・スクール
- 学校地域協働本部
- 地域行事への参加

安全・安心な学校づくり

- 学校設備の点検・整備
- 見守りボランティアの活用
- 危機管理意識の向上

働き方改革の推進

- 教職員が働きやすい職場環境づくり
- 校務DX化への取組

☆国の基本方針:「持続可能な社会の創り手の育成」「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」

☆県の基本理念:誰一人取り残さない教育の実現 ☆富士宮市の目指すこども像:「富士山を心に夢をもって生きる子ども」